
1 on 1 高校別設定資料

カモシカ太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

10巻1 高校別設定資料

【NNコード】

N14581

【作者名】

カモシカ太郎

【あらすじ】

バスケット小説『10巻1』の高校別設定資料です。

本編に少しづつ設定資料を載せていましたが、話数が多くなると共に探しにくくなると思ったので、こちらに移動しました。キャラがわからなくなつたときなどご活用ください。

朱雀高校設定資料（前書き）

ネタバレを多少含みます。

朱雀高校設定資料

朱雀高校

県内でも有数の進学校である。眞面目な生徒も多く、毎年有名大学への進学者を多く出している。運動部はそこまで盛んではなく、息抜き程度に行われているものがほとんど。しかし、現在朱雀高校3年生の木ノ下薫、永瀬勇希が入学してから、バスケットで県内ベスト16になるなど著しい成長を遂げている。中学校で注目選手だった長谷川亮なども後に入学し、更に期待のできる高校である。スター ティングメンバーの平均身長は181cm。

石川純也 『いしかわじゅんや』

学年	一年
身長	170センチ
ポジション	パワーフォワード
背番号	6
好きなもの	ストリートバスケット
嫌いなもの	ネズミ
特技	授業中寝ること

この物語の主人公。気が強い性格で小さい頃からストリートバスケットに馴れ親しんでいる。朱雀高校バスケ部には薫との1ON1での敗北をきっかけに半強制的に入部。並はずれたジャンプ力と腕力をもつていて喧嘩は久留美に負けるまで無敗。この世で唯一恐れるものは家族。

幼い頃から身につけたバスケットの技術には木ノ下薫も驚くほど。

荒々しいオフェンスとディフェンスはチームを確実に勢いづけるものがある。ファールが多いのが欠点。

長谷川 亮
はせがわりょう

学年	一年
身長	168センチ
ポジション	ポイントガード
背番号	8
好きなもの	久留美
嫌いなもの	純也
特技	低いドリブル

ドリブル、バスを得意とする。

高校に入る前に県でナンバー2の実力を誇る黒沢高校くろさわこうじゅくからバスケットのスカウトがきていたのだがそれを蹴つて朱雀高校に入学。その理由は中学一年の時に、たまたま見た朱雀高校バスケ部の試合で、当時高校一年生ながらも試合で活躍する木ノ下薫を見て、一緒にバスケをしたいという思うようになったから。木ノ下薫を誰よりも尊敬している。ポイントガードとしての能力は一年生ながらもすでに戦力としては十分すぎるほどの実力を持つている。特にドリブルに関しては左右の素早い切り替えのクロスオーバー、地を這うように姿勢を低くして抜きさるダックインなど様々な技を繰り出す。ショートも背の高い相手とも渡り合えるように独自に開発した『オーバーリバース・レイアップ』というリングから少し離れたところからのバックショートや、ハイループ・レイアップなどがある。前者の技で一度だけ、木ノ下薫のブロックをかわし得点したことがある。

大山博司
おおやまひろじ

学年 一年
身長 198センチ
ポジション センター
背番号 11
好きなもの 野菜 両親
嫌いなもの 食物を粗末にする人
特技 ラクターを運転すること

とても優しい心の持ち主。

気が弱く純也のいじられキャラ。両親をとても尊敬している。小さい頃から農作業の手伝いをしてきて、さすがに気の毒に思ったのか両親が部活動をすすめる。それをきっかけにバスケ部に入部。小さい頃からの農作業のおかげで力はとてもある。しかしそれを発揮する機会がなかつたので本人はまだ気付いていない。

朱雀高校バスケ部のディフェンスのかなめで、長身から繰り出されるブロックショットは強烈。得点力はほぼゼロに近い。頼りない彼だが、試合をすることに少しづつ成長していく。

我利勉翔太
がりべんじょうた

学年 二年
身長 176センチ
ポジション 時と場合によるが基本はシューティングガード
背番号 9

好きなもの 勉強

嫌いなもの 酢豚に入っているパイナップル

特技 高速暗記

朱雀の最終兵器。スリー・ポイント能力はなかなかのもの。バスケにかける情熱は凄まじく、朱雀高校バスケ部の将来のため自ら石川純也教育係りに名乗り出る。とても面倒見がいい。

ただ、スタミナが少ないのが欠点。試合でも途中交替という形が多い。

家の人はとても厳しくバスケ部入部を反対していたのだが、無理を言つて入部させてもらつてはいる。高校から初の運動部に入り、何度も自分の限界を知り挫折しそうになるが、そのたびにくれる木ノ下薰の一言により続けることを決意する。

木ノ下薰とはまた違つたスタイルのスリー・ポイントシューターで、ボールの軌道は美しい弧を描く。

木ノ下薰きのしたかおる

学年 三年

身長 184センチ

ポジション シューティングガード

背番号 4

好きなもの バスケット

嫌いなもの 納豆

特技 スリー・ポイント

朱雀高校バスケ部のキャプテン。一年生の時からレギュラーで当

時弱小だった朱雀を中堅クラスまで強くした立役者。

実は薰は中学のときに県でナンバーワンの白川第一高校からスカ

ウトがきたのだが、あることを目的に断る。中学のときは当時キヤブテンで全国大会制覇の経験がある。

一見しつかりしてそうな彼だが実はすこし天然ボケ気味なところもあつたりする。幼稚園の頃に6歳上の姉の影響でバスケットをはじめる。そのときの姉の実力は彼が小学校の時にはすでに追い越していただのだが、幼き頃に見た姉のレイアップシュートが今でも理想系として鮮明に頭の中に残っているという。今では母親と、看護士になつた姉との3人暮らしである。

永瀬勇希 ながせゆうき

学年	三年
身長	185センチ
ポジション	スマールフォワード
背番号	5
好きなもの	釣り
嫌いなもの	辛いもの
特技	本人は意識していないがモテること

大山博司の加入により、ポジションを変える。もともとフォワードのほうがむいており得点力が増した。

顔は綺麗で勇希ファンクラブが存在するほど。

高校入学当時はバスケ部に入る気などまったくなかつた。その理由はバスケをするたびに一つ年下の弟と比べられてしまうから。しかし薰の気合いに押され半強制的に入部。

釣りが大好きで部活がない休日は釣りに行くことが多い。

カットインをしてシュートを決める技術が優れている。木ノ下薰

と共に朱雀高校を支えてきた人物。

小田原真

おだわらしん

学年 三年

身長 179センチ

ポジション フォワード

背番号 7

好きなもの 朱雀高校バスケ部

嫌いなもの ニンニク

同期が次々に退部していく中で、木ノ下薫、永瀬勇希と共に、最後まで部活をやめなかつた3人のうちの1人。おとなしい性格だが根性があり、努力家。同じ辛い練習を一緒に乗り越えてきた者として、他3年生からもとても信頼されている人物。なんでも平均的にこなす彼だが、その中でもディフェンス能力には目を見張るものがある。本編では何気に20センチ近く離れている大山博司からポジション取りの上手さでリバウンドを取つているシーンがあるなど、派手さは無いが、基本ができたプレーで朱雀高校を支えていた重要な人物である。

春風久留美 はるかぜくるみ

学年 一年

身長 158センチ

バスケ部マネージャー

好きなもの 料理

嫌いなもの ホラー映画

バスケ部のマネージャー。石川純也の幼なじみでもある。容姿端麗、学力はクラスでトップクラス、面倒見が良いなどでクラスの男子の人気者。ただ、純也に対してはキツくあたってしまうことが多い。大学生の姉と二人暮らしをしていて、料理を担当しているのでなかなか料理の味は美味しい。

赤川純麗 あかがわすみれ

三年

身長 161センチ

バスケ部マネージャー

好きなもの お花

嫌いなもの 虫

三年のバスケ部マネージャー。学校では可愛いと評判がある。おつとりとしたお姉さんタイプで面倒見が良い。

実は木ノ下薫とは小学校からずっと同じの学校。薫にひそかにあまりを寄せているのだが、彼はとても二ブいこと、バスケットに夢中なこともあり全然進展がない。

実家は花屋で、趣味はお花を育てること。

一年

身長 178センチ

バンドでのパート ギター好きなもの ギター

嫌いなもの 偉そうな人

特技 ギターの速弾き

昔からの純也の親友。昔はよく商店街のはずれの空き地でストリートバスケをしていたが、バイトとバンド活動が忙しくなりほとんどストバスにはこれない。

いいヤツで度々純也の相談役になっている。

バンドのほうはライブハウスにくる人々から『光速ギタリスト』と呼ばれておりバンド自体も知名度が高い。

多少ネタバレを含みます。

佐川商業設定資料

佐川商業

築34年。今だにインターハイ出場は無く、過去の成績も県大会ベスト8どまり。

しかし、最近は力を付けてきている。その理由は、3年の大型センター松岡、2年の加藤が加わり、オフェンス、ディフェンスと共に大幅なレベルアップがあつた。これからの活躍に十分期待のできるチームである。

スター テイリングメンバーの平均身長は181.8cm。
ユニフォームの色は赤。

松岡敬吾 まつおかけいご

学年	3年
身長	195
ポジション	C
番号	4番

佐川商業キャプテン。

普段は礼儀正しくおとなしいのだが、試合になると強気になる。センターとしての技術は高く、実力ならおそらく県でも3本指に入る。

加藤良助 かとうりょうすけ

学年	二年
身長	182
ポジション	SF
番号	10

佐川商業の2年エース。なぜか朱雀高校の木ノ下薫にライバル心をいだいている。気性が荒く、試合中の相手を挑発するトラッショントークを得意とする。

バスケの実力もよく、成長が早い。だが、精神的にムラがあり不調と好調の差が激しい。これからも佐川商業を引っ張っていく人物。

高橋竜 たかはしりゅう

学年	3年
身長	176
ポジション	PG
番号	5

副キャプテン。常に冷静な判断でゲームを作る。

暴走する加藤を止める役なのだが、あまりその役はつとまつっていない。

佐田満男 さだみつお

学年	二年
身長	177
ポジション	SG

番号 8

佐川の隠れエース。
スリー・ポイントショートにはかなりの素質があり、来年も期待できる選手。

浅井四郎 あやこしろう

学年 3年

身長 179

ポジション PF

番号 6

特にあまり目立たない選手。理由は加藤、松岡がいるため。

武田武 たけだたける

学年 1年

身長 187

ポジション C

番号 15

現時点では佐川商業のレギュラーではない。しかし身長が高く、来年からの活躍が期待されている。

多少ネタバレを含みます。

石川純也が朱雀高校バスケットボール部に入部してまもなく練習試合をした相手。前半戦に朱雀高校を木ノ下薰のワンマンチームと見て、後半にダブルチームを仕掛けるが、それでも戦況は変わらず、約20点差をつけられ敗北する。

多少ネタバレを含みます。

黒沢高校設定資料

くろさわこうこう

なかのつばさ
中野翼

公立高校の古豪である。現在は実業団で活躍していた元PG進藤力也監督の下、指導が行われている。県で2番目の実力といわれており、能力的に高い選手がそろっている。また、スターティングメンバーの平均身長は189、2cmと県内1位である。関東大会では見事に優勝を手にした。ユニフォームの色は深緑。

あべまさと
安倍雅人

学年 3年
身長 190
ポジション PF
番号 4

黒沢高校のキャプテンである。PFでありながらさまざまな仕事をこなす非常に優秀な選手である。身長を活かしたポストプレーを得意とし、チームの攻撃の流れを掴む。

学年 3年
身長 186
ポジション SG
番号 5

黒沢高校の副キャプテン。高いスリー・ポイント技術とカットインには定評がある。中学時代はフォワードも経験しており、さまざまなポジションに対応している万能型。高校でSGにコンバート。

細川啓志
ほそかわけいし

学年 3年
身長 198
ポジション C
番号 6

髪を後ろに一つにまとめ、アゴには髭を生やし、高校生らしくない姿をしている。気性が激しく、荒々しいプレーも見られる。県内三大センターの一人である。

渡辺将
わたなべしょう

学年 3年
身長 188
ポジション SF
番号 7

目立ちはしないが、スタミナが多く、ディフェンス能力もチーム内から一目おかれている。ガードもこなすことができる。

進藤鉄也
しんどうてつや

学年	2年
身長	184
ポジション	PG
番号	9

現監督の進藤力也の息子。非常にバスケセンスに富んでおり、SF、SGもこなすスウィングマンである。1年生のときから黒沢高校のレギュラーに定着していた。過去に白川第一のPG森村一樹とのマッチアップ経験もある。そのときに味わった屈辱をバネにして打倒白川に1番燃えている人物。また、父親が朱雀にいつてしまつた長谷川亮をピックアップしており、それにも疑問を感じつつ嫉妬も抱いている。

白川第一高校設定資料（前書き）

多少ネタバレを含みます。

白川第一高校設定資料

私立の名門。12年連続インターハイ出場記録を持っている。

大平監督による指導が行われており、全国優勝は過去3回。

学校の歴史は古くはない。白川が県を制覇してからここ数年、県の白川天下はかわっておらず、まさに王者である。

チームに副キャプテンという概念は無く、各学年にキャプテンが1人ずつおり、それぞれの学年をまとめるスタイルをとっている。これは100人近い部員をまとめるために考え出されたもの。各学年のキャプテン番号は3年生が『4』2年生が『8』1年生が『13』。

今年度は森村一樹、永瀬朋希、佐々木健之助がこの役割に就いている。

なお、特別に『7』の番号にはチームの得点の主軸になる選手がおかかれている（エースナンバー）

。今年のメンバーは全国優勝を狙えるメンバーとして、全国でも注目を浴びている。

大平監督は学年に関係なく、実力のある選手を起用する方針。

スターティングメンバーの平均身長は186cm。

森村一樹

もりむら かずき

学年 3年

身長 174cm

ポジション PG

背番号 4

好きな物 NBA観戦

嫌いなもの エビ（フライになつてるのは大丈夫）

特技 ドリブル アシスト スティール

純也たちのコートから生まれた天才。

「コート内では、『コートができる以来の天才児』として、語り継がれていてる。

広い視野を活かしたアシストや、素早いドリブル、パスは上のバスケ界から注目をあびている。時には型破りなプレーで相手を混乱させることも。

ディフェンス能力も優れていてスティールの1試合平均も2~5という数字を出している。父さんがNBAファンで小さい頃からそれに影響されていた。

ドレットヘアーがトレーデマーク。尊敬する人はアイバーソン。

御庭慶彦

おにわよしひこ

学年 3年

身長 201cm

ポジション C

背番号 5

好きな物 実はアニメ

嫌いなもの ゴーヤー

趣味 マンガ集め

白川のゴール下の要。2年生の時に膝を故障してから、復活は厳しいとされたきたが、持ち前の身長とポジション取りの上手さでレギュラーの座を手に入れた。

頭はスキンヘッドで一見怖そつた外見だが、実は心優しいイジラレキヤラだつたりする。入部時はボchan刈でメガネという少年だったのだが、五十嵐に合宿のときに髪を剃られたため、現在のようになつた。本人はなぜかそれを気に入つてしまつた。

家の建築家業を継ぐために勉強中。練習後にアニメを見るのが日課となつてゐるが、大事な試合が近いときは氣合の意味もこめて封印している。

将来は個人のマンガ図書館を作るといつ夢を持つてゐる。

五十嵐 拓磨

学年 3

身長 188cm

ポジション SF

背番号 7

好きな物 ゲーム（疾走感あふれるもの）

嫌いなもの トロいもの

特技 ウィンドミル（バスケの方とダンスの方）

白川の歴代最高選手といわれてゐる。その野生感あふれる威嚇にも似たドリブルは守るもの硬直させるほど。中学時代、木ノ下薫と共に全国制覇を成し遂げた。

薫とは小学校の時から良き友達であり、またライバル関係である。

イライラすると周りが見えなくなるところがある。

ヤンチャな性格で、悪戯っ子である。そのため木ノ下薫は中学時代、彼にずいぶんと手をやいていた。高校に入つても御庭慶彦の頭を合宿で寝ている間に全ソリするなど、ヤンチャっぷりは健在。

1年生のときからエースナンバーの7番を背負つてきた。1年生から7番は白川の歴史上初のことである（これはエースとしての自覚を早いうちに植え付けさせるための監督の策略だった）

一度試合に入るとスイッチが切り替わったように豹変する。外見に似合わずゲーム好きで、御庭とは話が良く合つ。

永瀬朋希

学年 2年

身長 187cm

ポジション PF

好きな物 サッカー

野球

バレー

卓球

嫌いなもの 寿司

特技 一通りのスポーツをこなすことができる。

朱雀高校副キャプテンの永瀬勇希の実の弟。だが、中学のあたりから2人の仲が悪くなり始め、兄、勇希は高校入学と同時に1人暮らしを始めている。髪は兄と違い短めである。

将来は体育教師を目指していて、学校のスポーツ科での他のスポーツも万能にこなす。

とにかく体を動かすことが好きなスポーツマンである。

点をとることよりも、リバウンドをとることに快感を覚えており、ディフェンスは誰にも負けないという信念を持っている。

ジャンプの最高到達点が3m47cmと驚異的な高さを誇る。こ

のジャンプ力のおかげで、白川にいる大型の選手を抑えてレギュラーアイテムに入りした。

兄の暗い性格とはまさに逆の性格で、他の部活の人との交流も深い。

来年のキャプテン候補である。

佐々木健之助・真之介

学年 1年

身長 180・179

ポジション 現在は共にSG

背番号 13・14

好きな物 真之介・健之助

嫌いなもの 真之介・健之助

仲がいいのか悪いのかわからない兄弟。いつも行動がかぶるのでそこがお互いの嫌なところ。力をあわせた時の2人の動きはかなり統一されていて止めるのが難しい。

中学時代にはどちらも全国選抜に出ており、海外遠征などにも参加していた。中学時代は木ノ下薰が歩んできた道と大体同じ道を歩んでいる。目につけているゴーグルが特徴的で、双子を区別するために健之助が白のバンド、真之介が黒いバンドをしている。

健之助が1年生キャプテンの仕事をしている。

日比野太一
ひびのたいち

学年 2年

身長 191cm

ポジション C

番号 10

好きな物 カツ丼
嫌いなもの 天丼

控えCである。来年の白川を支えていくであろう1人。まじめな性格で努力家。永瀬にポジション争いで敗れたためにC控えとなつた。

大平三朗
おおだいらさぶろう

白川の監督である。12年連続インターハイ出場を果たした名将。どこかで試合があるたびに観戦しに行き、目に止まつた選手に声をかけたりしている。

それにより、現在の3年キャプテン森村や佐々木兄弟の獲得に成功している。

観戦に行く試合は、中学生の試合にどしまらず、ストリートの大會、さらには小学生の試合にまで足を伸ばしている。基本的には自由なスタイルで選手の自主性を優先して練習をしている。

時には鬼のように厳しくなり、選手たちはこれを恐れている。今年のチームは、白川歴史上、全国に1番近いチームと確かな手ごたえを掴んでいる。

>
i
1
9
1
0
—
3
1
5
<

(県外) 津堅田高校設定資料(前書き)

多少ネタバレを含みます。

神奈川県のバスケット名門校。毎年のようにインターハイに出場している。現在キャプテンを務めている福岡誠は、中学校時代に朱雀高校の木ノ下薰と、白川第一高校の五十嵐拓磨と共に氷室中学を全中制覇に導いた。今年のチームはこの福岡を中心としたポストプレーが武器。中でも長身から繰り出されるフックショートは全国トップクラスだ。

バスケットの名門、稻川工業いながわこうぎょうが毎年主催している稻川カップに出場したのだが、優勝候補の稻川工業とあたり、68-81で敗れる。

多少ネタバレを含みます。

秋田県のバスケットボールが非常に盛んな高校。過去に40を超える全国優勝を成し遂げていることから、高校バスケをしている者でこの高校を知らない人はいないというほどの強豪である。毎年、強豪を集めて稲川カップと呼ばれる大会を開催している。町全体もそのためかバスケット好きが多く、バスケットの町と呼ばれているくらいである。過去の実績から県外からの選手も多く、毎年のように優れた能力の選手が現れる。伝統のスタイルは粘り強く、無尽蔵とも呼ばれるディフェンスと素早いパスまわしのからのオフェンス。今年は平田に星野、苦竹と、全日本Jr.候補が多く揃う強豪。稲川カップではわずか1点差で白川第一高校に敗れ、準優勝に終わったが、全国ナンバー1クラスの実力があることには変わりないだろ。

大田高校設定資料（前書き）

多少ネタバレを含みます。

朱雀高校がインターハイ予選1回戦で戦つた高校。決して弱小と呼ばれる高校ではない。しかし、木ノ下薫率いる朱雀高校に圧倒的差を見せつけられて敗北した。

N O . 61 『派手なデビュー戦』より一部抜擢

今年の朱雀は何かが違う。

その予想は正しかつた。木ノ下薫はもちろん、永瀬勇希のカットイン、亮の地を這うようなドリブル、高速のクロスオーバー。更には不格好ながらも仕事をこなす博司の『ディフェンス』。

そして、チームを確実に勢いづける純也の荒々しいオフェンスとディフェンス。

あつという間に朱雀に得点が追加されていく。もう今年の朱雀高校は大田高校のような普通の高校が相手に出来るチームではなくなつていた。

多少ネタバレを含みます。

朱雀高校がインターハイ予選の3回戦でベスト8を賭けて戦った高校。ベスト16になるだけあって、それなりの実力はある。しかし、朱雀高校にとっては前試合の佐川商業の方が手強かつたようであつたりと突破されてしまった。普段あまり目立たない小田原君が活躍した試合もある。

多少ネタバレを含みます。

朱雀高校と同じく進学校である。校風として文武両道を掲げ、勉強、スポーツ共に盛んな高校だ。バスケ部は創部24年目で、近年では当たり前のように県内ベスト4に顔を並べるまでになった。6年前から笠岡監督と指導の下に練習が行われている。今年のメンバーは伝統のディフェンスに加え、大蔵、杉山、石塚によるインサイド、アウトサイドが強化された非常に強力なチームだ。スターディングメンバーの平均身長は強豪と呼ばれる高校の中では小さい方だが、インターハイ出場を狙える実力は十分にある。

スターディングメンバーの平均身長は177.4cm。

近江隆志

おうみたかし

学年	3年
身長	173センチ
ポジション	ポイントガード
背番号	4
好きなもの	データ収集
嫌いなもの	不良
特技	常に冷静でいること

城清高校のキャプテン。城清の組織的なバスケには欠かせない人物。常に冷静なプレーで、チームをコントロールする。

中学時代はレギュラーにも選ばれず、チームの不良的存在に命令

されてボール拾いを続けていた。そのときの出来事がきっかけで不良が大嫌いになった。

そんな彼だが、高校で現在の監督と出会いメキメキと頭角を現す。非常に努力家で、今ではチームに無くてはならない存在にまで成長した。実家はお肉屋さん。

佐藤泰助

学年 3年

身長 178センチ

ポジション パワーフォワード

背番号 5

好きなもの 格闘技観戦

嫌いなもの 野球

特技 筋肉アピール

城清の副キャプテン。筋トレが大好きで、部内でナンバー1の筋力を誇る。入学して笠岡監督の指導に共感する。小さな身長でもゴー

ール下で当たり負けしないように普段から筋トレはかかさない。

大蔵・ソニー・裕康

おおぐら・ソニー・ヒカル

学年 3年

身長 188センチ

ポジション センター

背番号 6

好きなもの 納豆
嫌いなもの 梅干
特技 一発ギャグ

城清のムードメーカー。外国人と日本人のハーフで、幼い頃は海外に住んでおり、片言な日本語を喋る。明るい性格で一発ギャグを得意とする。しかし、キレると熱くなりすぎて手に負えなくなることがある。

巨体に似合わず、素早い動きで走り回る。その身体能力は大型の選手にもひけをとらずにマッシュアップ出来るほど。彼のように動ける長身のセンターは、城清のプレイスタイルにとって理想の選手と言える。

いしづかてっぺい
石塚哲平

学年	3年
身長	176センチ
ポジション	スモールフォワード
背番号	7
好きなもの	パンクロック
嫌いなもの	ヒップホップ
特技	素早いカットイン

スキンヘッドが特徴の城清のポイントゲッター。素早いカットインからのショートを得意とする。自分がドリブルする方向に舌も一緒に動かすクセがあり、ストリートの大会ではそれを白川第一の森村に発見されて試合に負ける。気性が激しい彼だが、城清のバスケ

に共感しており、自分を見失つたりすることはない。

杉山 健祐

すぎやまけんすけ

学年 2年

身長 172センチ

ポジション SG

背番号 9

好きなもの きりたんぽ

嫌いなもの トロロ

特技 デタラメーションのショート

精度の高いスリー・ポイント・ショーター。県内ではハンター・杉山と言われている。

本当に狙っているのかも疑つてしまつような素早く「デタラメなショート・モーションから繰り出されるショート」が武器。

試合中も冷静を通り越して、常にボヘーつとしている。中学校時代は秋田県に住んでいて、県内でも有名な選手だったといふ。ショート能力が高く評価され、地元の強豪『稻川工業』からも声をかけられていた。

言葉が非常になまつていて、部員たちが聞き取れないこともある。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1458i/>

1 on 1 高校別設定資料

2010年10月15日01時13分発行